

**製品名: GCNT4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11361**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GCNT4
別名	
遺伝子 ID	51301.0
SwissProt ID	Q9P109
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 60-140

**背景**

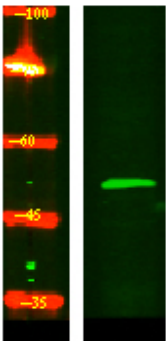
触媒活性:  $\text{UDP-N-アセチル-D-グルコサミン} + \beta\text{-D-ガラクトシル-1,3-N-アセチル-D-ガラクトサミニル-R} = \text{UDP} + \beta\text{-D-ガラクトシル-1,3-(N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル-1,6)-N-アセチル-D-ガラクトサミニル-R}$ 。機能: ムチン型生成における重要なステップ

であるコア2 O-グリカン分岐を媒介するグリコシルトランスフェラーゼ。コア4 O-グリカンまたはI-分岐酵素活性は持たない。、オンライン情報: コア2  $\beta$ -1,6-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ3。、オンライン情報: GlycoGene データベース, 経路: タンパク質修飾; タンパク質の糖鎖付加反応を司る。、類似性: 糖転移酵素 14 ファミリーに属する。、組織特異性: 主に胸腺で発現する。脾臓、末梢血白血球、胎盤、小腸、胃で弱く発現する。肝臓、脾臓、肺、リンパ節ではほとんど検出されない。、触媒活性:  $\text{UDP-N-アセチル-D-グルコサミン} + \beta\text{-D-ガラクトシル-1,3-N-アセチル-D-ガラクトサミニル-R} = \text{UDP} + \beta\text{-D-ガラクトシル-1,3-(N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル-1,6)-N-アセチル-D-ガラクトサミニル-R}$ 。、機能: ムチン型生成における重要なステップである、コア2 O-グリカンの分岐を媒介する糖転移酵素。コア4 O-グリカンおよびI-分岐酵素活性を持たない。、オンライン情報: コア2  $\beta$ -1,6-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ3。、オンライン情報: GlycoGene データベース, 経路: タンパク質修飾; タンパク質グリコシル化。、類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 14 ファミリーに属する。、組織特異性: 主に胸腺で発現する。脾臓、末梢血白血球、胎盤、小腸、胃で弱く発現する。肝臓、脾臓、肺、リンパ節ではほとんど検出されない。、

## 研究分野

O-グリカンの生合成;

## 画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。